

# 大滝ダム貯水池斜面对策検討委員会

## 第3回委員会 議事要旨

日時：平成19年 5月10日(木) 13:30～15:30

場所：京都テルサ(京都府民総合交流プラザ内) 3階「第1会議室」

### 出席者：

委員長	田村 武	(京都大学大学院 教授)
委員	角 哲也	(京都大学大学院 准教授)
"	吉松 弘行	(社団法人日本地すべり学会 理事)
"	平野 勇	(独立行政法人土木研究所 地質監)
"	安田 成夫	(国土技術政策総合研究所 水資源研究室長)
"	佐々木 靖人	(独立行政法人土木研究所 上席研究員【地質】)

### 議事：

第2回委員会において確認された大滝地区ならびに迫地区の地すべり対策候補案について総合的に検討し、地すべり対策工法の最適案として、以下のとおり確認した。

#### (1) 最適案の選定

##### 大滝地区について

安全性・環境負荷・施工性・工期短縮及びコスト縮減等の観点で総合的に検討した結果、前回委員会において候補とされた3案から1案を選択した。さらに、貯水池運用の検討として、貯水位低下速度を1m/日に制御し、かつ対策工施工時の水位をEL.258mにした場合、前面に鋼管矢板を施したセメント改良土と土砂による押え盛土工及び鋼管杭工を組み合わせた対策工法(委員会資料にある採用案)が最適であることを確認した。

##### 迫地区について

安全性・施工性・工期短縮及びコスト縮減等の観点で総合的に検討した結果、セメント改良土による押え盛土工とアンカー工を組み合わせた対策工法(委員会資料にある採用案)が最適であることを確認した。

#### (2) その他

今後、十分な計測、監視体制を整備し、安全性の確保に努めたうえで、貯水池運用の合理化を図る。